



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル

■会長 / 鈴木 清詞 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 江松 央統

■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第1144回

2015年7月28日(火) 晴 第4回

齊 唱 四つのテスト
出 席 会員 55名 (出席率算入人数 46名)
出席 40名 出席率 86.96%
前々回補填率 95.12% (7月14日分)

会長あいさつ

会長 鈴木 清詞さん

皆さま、こんばんは。大変暑くなりましたので、熱中症には十分に気をつけていただきたいと思います。

ところで、皆さまは色々な座右の銘をお持ちだと思います。誠実である、勤勉であるなど色々な所で聞かれる機会も多いかと思えます。私は「今を生きる」を座右の銘にしております。「今を生きる」というのはどういう事かと言いますと、人は過去に対して悔やんだり、あるいは未来に対して不安があったりします。実際には過去に戻る事は出来ないし、あるいは明日生きているかは分かりません。人がものを感じるのは「今」です。「今」の時間に過去や未来の事を考えて、「今」の時間を費やしています。

時間の感覚があるのは人間だけと言いますが、動物の場合は時間の感覚がないので本能のまま、その時の感覚のままに行動するわけです。人間の場合は、やはり過去があって「今」があって未来があるという時間の感覚があるので、一つの線があるように考えていますが、実は人生というものは線ではなく点であり、一瞬一瞬の繋がりが線になっているように見えるのです。

「今」という時間も考えてみますと、人はまず自分が「今」こんな事したら周りはどう思うだろう、どのように評価されるのだろうかと考えてしまいます。そうすると、どうしても自分で自分の事を評価して萎縮してしまい、やりたい事も控えてしまいます。過去・未来あるいは「今」を考えた時に、過去の事は過去に戻れるわけではないので、過去の失敗は二度と繰り返さないと心に決めます。

未来に対しては1つ大きな夢を持ち、そしてその夢に時間をつければ目的になり、その目的に対して「今」という時間をいかに有効に使うか、いかに自分の持っている力を出し切るのか。10の力を持った人が5の力を出すよりも、5の力しかない人が5の力

を出し切っているほうが、きっと人は一生懸命やっているのだと評価をするであろうと思います。

「今を生きる」というのはそういう意味で、自分の座右の銘にしております。一度しかない人生です。どのように生きるのかはそれぞれ自由ですが、そのように物事を考えれば色々な意味で楽に暮らしていけると思います。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 次週8月4日(火)、8月度の理事会が17時30分から「パイン」にて行われますので、役員・理事の方は宜しくお願い致します。
2. 海外出張届けが出ています。三浦隆さん、アメリカ西部へ7月28日(火)から8月6日(木)までです。

ニコボックス

◆ 暑い夏元気に乗り切りましょう。

加藤 英敏さん 伊藤 圭一さん 犬飼りさ枝さん
川瀬 悟さん 朝比美和子さん 有川 英敏さん
田中 一雄さん 細井 俊男さん 東山 直史さん
武藤 正行さん 新原 尚さん 中西 芳子さん
牧野 好弘さん 佐々木 暢さん 宮崎 良一さん
三浦 和人さん 大平 明子さん 水野 俊男さん
久米 伸治さん 鈴井 一博さん 日下智重子さん

◆ 連日猛暑ですが熱中症にならない様楽しく毎日を過ごしましょう。 坂田 信子さん

◆ 約100年前の今日、第一次世界大戦が起りました。 中村 勝さん

本日合計 24,000円 累計 108,000円

委員会報告

■会報・雑誌・広報委員会

委員長 江松 央統さん

皆さま、こんばんは。ロータリーの友事務所よりお知らせが来ております。

「ロータリーの友」2015年12月号、2016年1月号、2月号、3月号、5月号の表紙の写真につきまして、写真を再募集する事になったそうです。テーマ等はありません。皆さまからのご応募をお待ちしておりますとの事です。

応募締切は10月10日で、点数は1人3点迄です。サイズは紙焼き四つ切り、それに近いサイズも可です。詳細は事務局にお問い合わせいただければと思います。我こそはという方は宜しくお願い致します。

新年度クラブ総会

■前年度会計報告（2014-2015年度決算）

前年度会計 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。前年度会計の木下です。クラブ計画書の24ページをご覧ください。

収入の部ですが、予算の時と比べて実際は会員数が減ったので、年会費収入が1,500,000円ほど減り、合計1,300,000円ほど収入が減りました。支出の部もそれに合わせて、本部地区費や例会費が減っています。クラブ活動費も予算より700,000円位減っておりまして、合計しますと50,929,000円で、約1,300,000円抑えております。

収入の部で本年度はニコボックスから2,000,000円を振り替えておりますので、次の25ページのニコボックスの収支決算書をご覧くださいますと、昨年度はニコボックスで905,000円のプラスがありました。実際には1,000,000円位はニコボックスから減っている形になっております。ニコボックスも現在残っている金額が繰り越しで5,510,000円ありまして、ここから2,000,000円振り替えて1,000,000円増えています。次期繰越金が2,980,000円ですので、約3,000,000円しか残っておりません。

毎年2,000,000円ずつ振り替えて1,000,000円ずつニコボックスからの収入があったとしても、あと3年間でニコボックスが0になるという状況です。今後早急に検討していかなくてはならないと思います。

■監査報告 前年度会計監査 中西 芳子さん

皆さま、こんばんは。会計監査の中西です。7月6日（月）事務局にて通帳残高と帳簿の全ての項目につきまして、相違がない事を確認いたしました。公正・妥当と認めます。

■2015-2016年度クラブ事業計画

(1) 予算案 会計 宮崎 良一さん

会計の宮崎良一です。クラブ計画書の24ページ右側をご覧ください。今年度の予算案で、収入については各1名ずつ増員が出来るという見込みを立てております。しかし、当年度もニコボックスから2,000,000円を振り入れる予定にしておりますので、その収入合計は27,750,000円ですが、実質は会費収入としては25,780,000円です。予算は28,000,000円ありますので、ニコボックスの振り入れがない通常の収支であれば2,500,000円の赤字予算であります。

支出もそれに合わせて少しずつ抑制するよう色々と考えております。親睦活動については、昨年の水準を維持して4,000,000円を計上しております。社会奉仕委員会でも市内25RCの拠出金や地区補助金事業として500,000円を計上いたしました。ローターアクトは熱田ローターアクトの補助金が主なものです。あとはほとんど例年の事業を踏襲したものを予算として計上しています。

会場運営・プログラムとして、100,000円を計上しました。これは外部講師を招いてお話をさせていただく等の謝礼金も含めて考えております。そういう形の予算でありますので、宜しくお願い致します。

先程、木下前年度会計からもお話がありましたよ

うに、現在ニコボックスのお金は2,900,000円です。こちら皆さまのご協力を宜しくお願い致します。

決算で10,000,000円が残っていますが、これは使途が記念事業に限られます。これらが現在の財務状況です。

(2) クラブ行事予定 幹事 坂本 晃さん

クラブ計画書の22・23ページをご覧ください。今年度の特徴は、地区の委員会からの卓話をなくし、出来るだけメンバー同士のコミュニケーションを図るという事を考えておりますので、会員の卓話が増えております。それから、例会場をホテル以外の場所で月に1回予定しております。それと本日と先週の食事もそうですが、新しくパターンとして第1週は洋食、第2週は和食、第3週は中華、第4週はカレーとし、カレーもカレーだけでなくハンバーグなどのトッピングやハヤシライスなどバラエティー豊かに考えていただいて、新しい試みでやっていきたいと思っております。これらにつきまして色々評価があると思っておりますので、是非幹事の私か事務局へご意見をいただければと思っております。

(3) ニコボックスについて 幹事 坂本 晃さん

先程、前年度会計の木下さんや今年度会計の宮崎さんからお話がありましたが、日本の財政と同じで、会計が徐々に収縮してきております。特にニコボックスの収支を見ていただきますと分かりますように、2010年～2011年はニコボックス収入が1,780,000円だったのが、2014年～2015年は905,000円と激減しております。会員はそんなに減ってはいませんが、皆さまからいただくニコボックスの1人当たりの単価が下がっているのではないかと考えております。これをどのようにして上げていこうかという事なのですが、ニコボックスの本来の意味は、1週間こんな事がありましたという感動や、皆さまに対するメンバーのアピールなどではないかと思っておりますので、名前を連ねるという事よりも皆さまとのコミュニケーションが必要なのではないかと考えます。そのような事をやっていただいて、ニコボックス収入を上げていきたいです。

もう一つ支出を見ていただきますと、2014年～2015年度で本会計振替が2,000,000円、それ以外のニコボックスから支出したのが1,690,000円です。その他収入が250,000円ありますが、繰越残高として5年前は6,940,000円だったものが3,000,000円弱に減ってしまいました。今期は是非ニコボックス収入を1,000,000円以上は上げたいと思っておりますが、それ以外で収入をどうやって増やしていくかという事と、支出をどうやって抑えていくかの両方が必要になります。

単年度で毎年毎年その年度の予算がありますが、もう少し長期的に我々がどのようにローターを運営していくかという事を考えながら、ニコボックスだけでなく、色んな収入・支出をこまめに考えて、5年後10年後をどうしていくかというプランを、例えば中期委員会などを設け、単年度ではなく長期的に会計をどうしていくのか考えていきたいと思っております。

創立 25 周年記念式典について

創立 25 周年記念実行委員長 山本 郁矢さん

皆さま、こんばんは。25周年記念事業準備委員会が昨年発足し、今年度に入り実行委員会となりました。

た。メンバーは式典担当に入谷直行さん、アトラクション担当に木下福郎さんで委員会を始めています。

我々名古屋名南RCの創立が25年前の2月19日という事ですので、来年2月19日（金）に記念例会を開催させていただきます。記念例会につきましては、皆さまのご協力をいただく中で配偶者の方のご参加もお願いし、例会を行えればと思っております。

記念事業としましては、我々と親しくさせていただいております養護施設に寄付をさせていただこうと考えております。記念例会としましては、台湾の姉妹提携をさせていただいているクラブにも呼び掛けて出席をお願いしたいと考えております。メンバーと順次相談しながら、また鈴木会長や坂本幹事のアドバイスをいただきながら決めていこうと思っておりますので、ご希望・ご意見等ございましたら私へ早い時期にご連絡をいただければ、それを参考にさせていただき決定していきたいと思っております。

先程お話がありましたように、周年事業として10,000,000円という予備費がございますが、これを使い切るつもりは毛頭ございません。極力質素に周年事業を行わせていただくというのが基本的な考え方です。皆さまにご協力をいただき、25周年の記念例会が、質素な中にも皆さまに喜んでいただけるような例会を開く事が出来ればと思っております。皆さまにご協力をお願いして、現在の記念事業計画報告とさせていただきます。今後共宜しくお願い致します。

会長 鈴木 清詞さん

少し補足となりますが、予算は4,000,000円です。各養護施設への寄付で200,000円ずつ出します。出席する皆さまと配偶者の方ですが、それは無料となります。

西名古屋分区の会長・幹事を招待して、それから台湾のミレニアムRCに招待状を出します。積立金としては、10,000,000円ありますが4,000,000円の予算で残金についての用途は今後考えていくことになるかと思っております。

第 1146 回例会 (8月18日) のご案内

会員増強委員会卓話